



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社昭和システムエンジニアリング  
コード番号 4752 URL <http://www.showa-sys-eng.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 裕一

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 八木 克己

TEL 03-3639-9051

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	4,516	△10.6	323	△0.5	340	2.3	223	5.8
28年3月期第3四半期	5,053	21.3	324	19.3	333	17.7	211	19.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	48.00	—
28年3月期第3四半期	45.38	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	5,270	2,791	53.0
28年3月期	5,341	2,634	49.3

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 2,791百万円 28年3月期 2,634百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800	0.9	410	1.7	418	1.4	274	40.6	58.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	4,810,000 株	28年3月期	4,810,000 株
29年3月期3Q	153,863 株	28年3月期	153,863 株
29年3月期3Q	4,656,137 株	28年3月期3Q	4,656,137 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得情勢が堅調に推移し、国内景気も緩やかながら回復基調にあります。しかしながら新興国の経済成長の減速や英国のEU離脱および米国大統領交代による金融・為替市場の不確実性等、先行き不透明な状況が続いております。

情報サービス産業におきましては、この不確実で不透明な経済状況が企業のコスト削減やICTに対する投資の姿勢を慎重にさせており、加えて同業他社との競争の激化もあり厳しい状況にあります。

当社はこのような状況の中、技術者の育成をはじめ営業力の強化やパートナー会社との連携強化を図り、受注活動を鋭意進めてまいりましたがその進捗は緩やかに推移し、売上高は前年同期に比べ減少気味となりました。一方、利益面ではプロジェクト管理体制の強化を継続し、不採算案件の抑止に努めた結果、ほぼ前年同期並みとなりました。

当第3四半期累計期間の業績は、売上高4,516百万円(前年同期比10.6%減)、営業利益323百万円(前年同期比0.5%減)、経常利益340百万円(前年同期比2.3%増)、四半期純利益223百万円(前年同期比5.8%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① ソフトウェア開発事業

ソフトウェア開発事業は、売上高4,428百万円(前年同期比11.1%減)、売上総利益642百万円(前年同期比2.3%増)となりました。

#### ② BPOエントリー事業

BPOエントリー事業(業務代行サービス)は、売上高87百万円(前年同期比22.6%増)、売上総損失0百万円(前年同期は売上総損失6百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は4,192百万円(前事業年度末比95百万円減少)となりました。主な要因は現金及び預金が増加したものの、売掛金及びその他に含めた繰延税金資産が減少したことによります。

#### (固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産は1,078百万円(同24百万円増加)となりました。主な要因は有形固定資産及び繰延税金資産が増加したものの、その他に含めた差入保証金が減少したことによります。

その結果、当第3四半期会計期間末における資産合計は5,270百万円(同71百万円減少)となりました。

#### (流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は611百万円(同347百万円減少)となりました。主な要因は賞与引当金及び未払法人税等が減少したことによります。

#### (固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債は1,867百万円(同118百万円増加)となりました。これは退職給付引当金が増加したことによります。

その結果、当第3四半期会計期間末における負債合計は2,479百万円(同228百万円減少)となりました。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は2,791百万円(同157百万円増加)となりました。主な要因は四半期純利益223百万円と配当金の支払79百万円による利益剰余金の増加であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期業績予想につきましては、平成28年8月10日に発表いたしました業績予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,375,703	3,457,271
売掛金	696,489	598,828
仕掛品	55,602	16,281
その他	160,431	119,941
流動資産合計	4,288,226	4,192,322
固定資産		
有形固定資産	128,512	189,838
無形固定資産	3,785	3,665
投資その他の資産		
繰延税金資産	511,746	541,969
その他	409,728	342,976
投資その他の資産合計	921,474	884,945
固定資産合計	1,053,772	1,078,449
資産合計	5,341,999	5,270,772
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	234,424	161,003
短期借入金	10,000	10,000
未払法人税等	131,920	15,236
賞与引当金	348,330	156,527
その他	234,547	269,024
流動負債合計	959,223	611,791
固定負債		
役員退職慰労未払金	60,973	60,973
退職給付引当金	1,687,487	1,806,431
固定負債合計	1,748,460	1,867,404
負債合計	2,707,684	2,479,196
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	630,500	630,500
資本剰余金	553,700	553,700
利益剰余金	1,678,610	1,822,959
自己株式	△61,126	△61,126
株主資本合計	2,801,683	2,946,032
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,011	24,922
土地再評価差額金	△179,378	△179,378
評価・換算差額等合計	△167,367	△154,456
純資産合計	2,634,315	2,791,576
負債純資産合計	5,341,999	5,270,772

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	5,053,608	4,516,150
売上原価	4,431,287	3,873,763
売上総利益	622,321	642,386
販売費及び一般管理費	297,476	319,134
営業利益	324,844	323,252
営業外収益		
受取利息	948	631
受取配当金	3,393	3,792
受取家賃	1,395	1,395
受取手数料	668	646
保険解約返戻金	1,609	—
受取保険金	—	10,875
雑収入	270	387
営業外収益合計	8,285	17,727
営業外費用		
支払利息	45	37
固定資産除却損	—	83
営業外費用合計	45	121
経常利益	333,084	340,858
特別利益		
固定資産売却益	204	—
特別利益合計	204	—
税引前四半期純利益	333,289	340,858
法人税、住民税及び事業税	119,345	67,072
法人税等調整額	2,640	50,282
法人税等合計	121,985	117,355
四半期純利益	211,303	223,503

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。